

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

0 歳児 もも 組

1. 活動のテーマ

<テーマ>

鏡に触れる

・鏡マットを通して、友だちとふれあい楽しんだり自分との対話や探求心を育む。

1回目：7月～継続 2回目：1月～

<テーマの設定理由>

1回目：室内の鏡に興味を示し、自分の顔を覗き込んだり、笑顔が見られるようになった為。

2回目：7月からの鏡遊びを通して、自分の姿だけでなく友だちへの興味もみられた為、子ども同士の楽しみ方遊びの広がりを見る。

2. 活動スケジュール

・保育の中で、鏡マットを用意し子どもの反応をみる。

・鏡マットの形を変える。(縦・トンネル・平面)

3. 探求活動の実践

準備品：鏡マット

1回目

・ハイハイや掴まり立ち、自分で動ける喜びを感じ色々な物を触ったり探索する活動が増えた。その中で鏡マットを用意することで、自分の顔に興味を示し覗いたり友だちの顔をじっくりと観察する様子が見られた。特にトンネルにすると色々な方向から見える姿に興味津々の様子で、友だちと向き合うと「ばー」と覗き込み微笑ましい姿が見られた。

2回目

・これまでハイハイ等で鏡に近づき、自分の顔を覗き込む姿が多く見られたが、回数を重ねる事に鏡越しに友だちや保育士に手を振ったり、自分の顔をじっくりと観察し笑顔になる場面が増えた。また、友だちが笑顔になると笑顔を返したりと、友だちを通じた仕草が多く見られるようになった。鏡を縦や平面にして置くことで奥行が見られ不思議そうに見つめたりと、成長と共に違う反応が見られたのは大きな発見となった。



活動の様子



<振り返りによって得た先生の気づき>

1回目

・鏡を用意すると不思議そうな顔でじっくりと観察をしたり、笑顔で見っていたりと興味深々でした。子どもにとって自分の姿は改めて知る新しい世界です。いつも見ている友だちや保育士の姿を鏡を通して気づくことで、もう1つの新しい世界を垣間見ることが出来たのではないかと感じます。“何だろう”“触ってみたい”と手を伸ばすことで、色々な方向から物の見方を学習していくのだと思いました。探求心を育み、成長に応じた玩具の提供等今後も必要に応じて取り入れ発達をサポートしていきます。

2回目

・鏡は好きで、毎回新鮮な反応が見られました。子どもたちの成長と共に様々な角度から覗いてみたり「〇〇ちゃんいたね」の保育士の言葉に反応し指さしで表現する等、遊びの広がりが見られました。一人ひとりの反応も様々で、鏡を通じ成長を感じられたことはとても良かったです。他児への関心、同じ世界を共有する楽しさ、色々な角度から自分を探索したり、いつもと違う世界観に子どもたちの笑顔は尽きませんでした。空間認知の必要性を肌で感じ、これからも子どもたちと同じ世界観を共有できるよう、環境を整えていきます。